

— 郷土への誇りを胸に新たな門出 —

松浦市成人式



平成 27 年松浦市成人式が 1 月 4 日、文化会館で開催されました。
今年の内市の新成人は 343 人。式典は志水友彦^{ともひこ}さん（福島町）と森彩恵夏^{さいか}さん（鷹島町）の司会で進められました。

友広市長は「皆さんは、選挙権をはじめさまざまな権利を得ると同時に、社会の一員として地域社会やわが国の発展のために貢献し、日本の未来を担うという大きな責任が生じてまいります。このことを自覚し、自らの判断と責任により行動することが求められることとなります。ご家族、友人、職場、地域の方々など多くの人との結びつきを大事にされ、自らの可能性を信じ、夢に向かって挑戦し続け、人間的にさらに大きく成長されることを期待いたします」と式辞を述べました。その後、代表者が二十歳の抱負を述べ、最後に山口慶士郎^{けいしろう}さん（調川町）が交通安全宣誓を行いました。



二十歳の抱負



松浦で生まれ松浦で育ち、早くも二十年が経ちました。今日から私たちも大人の仲間入りです。振り返ってみると、松浦の雄大な自然やこの土地の温かな人柄に育てられたのだと実感します。仲間や家族との思い出が詰まったこの故郷の存在は、これからかけがえない心の支えになります。

私は日本を支えられるような技術者になりたいと思い、佐世保高専に入学し、来年度には就職します。内定をいただいたときには、こんな風に少しずつ自分の描いた未来に近づいていくと希望が持てました。

これから大人になるにつれて自分で道を切り開かなければいけない場面が増えていきます。日々の努力を忘れずに挑戦する気持ちを大切にしながら、少しずつ社会に貢献できる大人に近づけるように努力します。

感謝の気持ちと成人としての決意を忘れず、力強く、やさしく、たくましく生きていくことを誓います。



私たちがこの日を迎えられるのも二十年間育ててくれた家族、共に歩んできた仲間、導いてくださった先生方、そして地域の方々のお陰です。この感謝の気持ちを忘れず、皆さまからいただいた意義深い教訓と「松浦市出身」という誇りを胸に刻み、これから社会人として歩んでいくことをここに誓います。

私は来年度からロケット・航空機などの開発、製造に携わるエンジニアとして働く予定です。空や宇宙にはまだまだ知らない世界が広がっており、そこに飛び立つということは人類の夢であり、私自身の夢でもあります。多くの人に喜びと感動を与えられるような技術者になるために頑張っていきたいと思います。

困難を乗り越え、一步一步確実に進んでいき、社会の一員として認められるようこれからの人生に挑んでいきたいと思います。

新成人の皆さま一人一人の活躍を祈念します。

